

電気需給約款 [低圧]

令和4年11月1日実施

エア・ウォーター・ライフソリューション株式会社

電気需給約款 [低圧]

目 次

I 総 則	
1 適 用	1
2 需給約款および料金表の変更	1
3 定 義	1
4 単位および端数処理	3
5 そ の 他	3
II 契約の申込み	
6 需給契約の申込み	4
7 需給契約の成立および契約期間	4
8 需給契約の単位	5
9 供給の開始	5
10 供給方法, 工事および工事費の負担	5
11 需給契約書の作成	5
III 料金の算定および支払い	
12 料 金	6
13 料金の適用開始の時期	6
14 料金の算定期間	6
15 使用電力量等	6
16 料 金 の 算 定	6
17 日 割 計 算	6
18 料金の支払義務および支払期日	7
19 料金その他の支払方法	7
20 保 証 金	8
IV 使用および供給	
21 適正契約の保持	9
22 需要場所への立入りによる業務の実施	9
23 違 約 金	9
24 供給の中止または使用の制限もしくは中止	9
25 損害賠償の免責	10
26 設 備 の 賠 償	10

V 契約の変更および終了	
27	需給契約の変更 11
28	名義の変更 11
29	需給契約の廃止 11
30	需給開始後の需給契約の消滅または変更にともなう工事費等の精算 12
31	需給開始に至らないで需給契約を廃止または変更される場合の工事 費負担金等相当額の申受け 12
32	解 約 等 12
33	需給契約消滅後の債権債務関係 13
附	則 14
別	表 15

I 総 則

1 適 用

- (1) 当社が、低圧で電気を供給するときの電気料金その他の供給条件は、この電気需給約款〔低圧〕（以下「この需給約款」といいます。）および当社が別に定める料金表によります。
- (2) この需給約款および料金表は、次の地域に適用いたします。
北 海 道
ただし、礼文島、利尻島、天売島、焼尻島および奥尻島は除きます。

2 需給約款および料金表の変更

- (1) 当社は、次の場合には、この需給約款および料金表を変更することがあります。この場合には、電気料金その他の供給条件は、変更後の電気需給約款〔低圧〕および料金表によります。
 - イ 消費税および地方消費税の税率の変更等のやむをえない要因が生じた場合に、必要な限度において料金を変更するとき。
 - ロ 一般送配電事業者が定める託送供給等約款およびその他の供給条件等（以下「託送約款等」といいます。）の変更または法令の制定もしくは改廃により、この需給約款および料金表を変更する必要がある場合
 - ハ その他、この需給約款および料金表を変更すべき合理的な事由が生じた場合
- (2) この需給約款および料金表を変更する場合には、当社は、この需給約款および料金表の変更前は、変更内容を、変更後は、変更内容、需給契約の成立日、供給地点特定番号ならびに当社の名称および所在地をお客さまにお知らせいたします。この場合、電気事業法第2条の13に定める書面（以下「契約締結前交付書面」といいます。）および電気事業法第2条の14に定める書面（以下「契約締結後交付書面」といいます。）の交付に代えて、電子メールを送信する方法または電気通信回線を通じてお客さまの閲覧に供する方法等によりお客さまにお知らせすることがあります。
なお、変更とならないその他の事項については、お知らせを省略することがあります。また、法令の制定または改廃にともない当然必要とされる形式的な変更その他需給契約の内容の実質的な変更をとまなわない変更の場合には、当該変更となる事項の概要のみを、契約締結前交付書面を交付することなく、当社のホームページに掲示する方法によりお客さまにお知らせいたします。この場合、契約締結後交付書面の交付はいたしません。

3 定 義

次の言葉は、この需給約款および料金表においてそれぞれ次の意味で使用いたします。

- (1) 低 圧
標準電圧 100 ボルトまたは 200 ボルトをいいます。
- (2) 電 灯
白熱電球，けい光灯，ネオン管灯，水銀灯等の照明用電気機器（付属装置を含みま
す。）をいいます。
- (3) 小 型 機 器
主として住宅，店舗，事務所等において单相で使用される，電灯以外の低圧の電気
機器をいいます。ただし，急激な電圧の変動等により他のお客さまの電灯の使用を妨
害し，または妨害するおそれがあり，電灯と併用できないものは除きます。
- (4) 動 力
電灯および小型機器以外の電気機器をいいます。
- (5) 契 約 種 別
料金表に定める契約の種別をいいます。
- (6) 契 約 負 荷 設 備
契約上使用できる負荷設備をいいます。
- (7) 契 約 主 開 閉 器
契約上設定されるしゃ断器であって，定格電流を上回る電流に対して電路をしゃ断
し，お客さまにおいて使用する最大電流を制限するものをいいます。
- (8) 契 約 電 流
契約上使用できる最大電流（アンペア）をいい，交流单相 2 線式標準電圧 100 ボル
トに換算した値といたします。
- (9) 契 約 容 量
契約上使用できる最大容量（キロボルトアンペア）をいいます。
- (10) 契 約 電 力
契約上使用できる最大電力（キロワット）をいいます。
- (11) 最大需要電力
お客さまが使用される電力の最大値をいいます。
- (12) 昼 間 時 間
毎日午前 9 時から午後 5 時までの時間をいいます。
- (13) 夜 間 時 間
昼間時間以外の時間をいいます。
- (14) 休 日
土曜日，日曜日，「国民の祝日に関する法律」に規定する休日，1 月 2 日，1 月 3 日，
4 月 30 日，5 月 1 日，5 月 2 日，12 月 30 日および 12 月 31 日をいいます。
- (15) 平 日
休日以外の日をいいます。

(16) 貿易統計

関税法にもとづき公表される統計をいいます。

(17) 平均燃料価格算定期間

貿易統計の輸入品の数量および価額の値にもとづき平均燃料価格を算定する場合の期間とし、毎年1月1日から3月31日までの期間、2月1日から4月30日までの期間、3月1日から5月31日までの期間、4月1日から6月30日までの期間、5月1日から7月31日までの期間、6月1日から8月31日までの期間、7月1日から9月30日までの期間、8月1日から10月31日までの期間、9月1日から11月30日までの期間、10月1日から12月31日までの期間、11月1日から翌年の1月31日までの期間または12月1日から翌年の2月28日までの期間（翌年が閏年となる場合は、翌年の2月29日までの期間といたします。）をいいます。

(18) 再生可能エネルギー発電促進賦課金

再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法（以下「再生可能エネルギー特別措置法」といいます。）第36条第1項に定める賦課金をいいます。

4 単位および端数処理

この需給約款および料金表において料金その他を計算する場合の単位およびその端数処理は、次のとおりといたします。

- (1) 契約負荷設備の個々の容量の単位は、1ワットまたは1ボルトアンペアとし、その端数は、小数点以下第1位で四捨五入いたします。
- (2) 契約容量の単位は、1キロボルトアンペアとし、その端数は、小数点以下第1位で四捨五入いたします。
- (3) 契約電力および最大需要電力の単位は、1キロワットとし、その端数は、小数点以下第1位で四捨五入いたします。ただし、料金表において、契約電力として算定された値が0.5キロワット以下となるときは、契約電力を0.5キロワットといたします。
- (4) 使用電力量の単位は、1キロワット時とし、その端数は、小数点以下第1位で四捨五入いたします。ただし、30分ごとの使用電力量の単位は、最小位までといたします。
- (5) 料金その他の計算における合計金額の単位は、1円とし、その端数は、切り捨てます。

5 そ の 他

- (1) この需給約款に記載のある事項について、料金表に定めがある場合は、料金表によるものといたします。
- (2) この需給約款および料金表に記載のない事項については、この需給約款および料金表の趣旨に則り、そのつどお客さまと当社との協議によって定めます。

II 契約の申込み

6 需給契約の申込み

- (1) お客さまが新たに電気の需給契約を希望される場合は、あらかじめこの需給約款および料金表ならびに託送約款等に定める需要者に関する規定を承認のうえ、次の事項を明らかにして、当社所定の様式によって申込みをしていただきます。ただし、軽易な内容のものについては、電磁的方法、口頭、電話等による申込みを受け付けることがあります。

契約種別、供給電気方式、需給地点、需要場所（供給地点特定番号を含みます。）、供給電圧、契約負荷設備、契約主開閉器、契約電流、契約容量、契約電力、発電設備、業種、用途、使用開始希望日、料金の支払方法およびその他当社が必要とする事項

なお、需給地点および需要場所は、託送約款等に定めるところによるものといたします。

また、この需給約款および料金表によって支払いを要することとなった料金その他の債務について、お客さまが当社の定める期日を経過してなお支払われない場合等には、当社は、お客さまの氏名、住所、支払状況等の情報を他の小売電気事業者へ通知することがあります。

- (2) 契約負荷設備、契約電流、契約容量および契約電力については、1年間を通じての最大の負荷を基準として、お客さまから申し出ていただきます。この場合、1年間を通じての最大の負荷を確認するため、必要に応じて使用開始希望日以降1年間の電気の使用計画を文書により申し出ていただきます。

7 需給契約の成立および契約期間

- (1) 需給契約は、申込みを当社が承諾したときに成立いたします。
(2) 契約期間は、次によります。

イ 契約期間は、需給契約が成立した日から、料金適用開始の日が属する年度（4月1日から翌年の3月31日までの期間をいいます。）の末日までといたします。

ロ 契約期間満了に先だってお客さままたは当社から別段の意思表示がない場合は、需給契約は、契約期間満了後も1年ごとに同一条件で継続されるものといたします。この場合、当社は、契約期間満了前は、新たな契約期間を、契約締結前交付書面を交付することなく、当社のホームページに掲示する方法によりお客さまにお知らせいたします。また、この需給約款および料金表による契約の継続後は、新たな契約期間、需給契約の成立日、供給地点特定番号ならびに当社の名称および所在地をお客さまにお知らせいたします。

なお、契約締結後交付書面の交付に代えて、電子メールを送信する方法または電気通信回線を通じてお客さまの閲覧に供する方法等によりお客さまにお知らせすることがあります。

また、変更とならないその他の事項については、お知らせを省略することがあります。

8 需給契約の単位

当社は、電灯または小型機器を使用する需要に適用する契約種別と動力を使用する需要に適用する契約種別（以下「動力契約種別」といいます。）とをあわせて契約する等、1 需要場所において、当社があわせて契約することを認める契約種別を複数適用する場合を除き、1 需要場所について1 契約種別を適用して、1 需給契約を結びます。

9 供給の開始

- (1) 当社は、お客様の需給契約の申込みを承諾したときには、お客様と協議のうえ需給開始日を定め、必要な手続きを経たのち、すみやかに電気を供給いたします。
- (2) 当社は、やむをえない理由によって、あらかじめ定めた需給開始日に電気を供給できないことが明らかになった場合には、その理由をお知らせし、あらためてお客様と協議のうえ、需給開始日を定めて電気を供給いたします。

10 供給方法、工事および工事費の負担

- (1) 一般送配電事業者が維持および運用する供給設備を介してお客様が電気の供給を受ける場合の供給方法および工事については、託送約款等に定めるところによるものといたします。
- (2) 一般送配電事業者から、託送約款等にもとづき、お客様への電気の供給にともなう工事費負担金その他の請求を受けた場合は、当社は、請求を受けた金額に相当する金額を工事費負担金等相当額として申し受けます。
また、一般送配電事業者から、託送約款等にもとづき、工事費負担金の精算を受けた場合は、当社は、工事費負担金等相当額をすみやかに精算するものといたします。
- (3) 託送約款等にもとづき、当社の負担により、当社で施設し、または取り付けるところとされている付帯設備、引込口配線、補助支持物、地中引込線等については、原則としてお客様の負担により、お客様で施設し、または取り付けていただきます。

11 需給契約書の作成

特別の事情がある場合で、お客様が希望されるときまたは当社が必要とするときは、電気の需給に関する必要な事項について、需給契約書を作成いたします。

Ⅲ 料金の算定および支払い

12 料 金

料金は、契約種別ごとに料金表に規定する料金といたします。

13 料金の適用開始の時期

料金は、需給開始の日から適用いたします。ただし、あらかじめ需給契約書を作成されたお客さまについては、お客さまの責めとならない理由によって需給が開始されない場合を除き、原則として需給契約書に記載された需給開始日から適用いたします。

14 料金の算定期間

- (1) 料金の算定期間は、託送約款等に定める検針期間、計量期間または検針期間等（以下「検針期間等」といいます。）といたします。ただし、電気の供給を開始し、または需給契約が消滅した場合の料金の算定期間は、開始日から開始日を含む検針期間等の終期までの期間または消滅日の前日を含む検針期間等の始期から消滅日の前日までの期間といたします。
- (2) 技術上、経済上やむをえない場合等特別の事情がある場合で計量器を取り付けないときの料金の算定期間は、(1)に準ずるものといたします。この場合、(1)にいう検針期間等は、そのお客さまの属する検針区域の検針期間等といたします。

15 使用電力量等

- (1) 使用電力量は、一般送配電事業者が設置する計量器により計量され各月ごとに一般送配電事業者から通知される接続供給電力量または当社と一般送配電事業者との協議によって定めた接続供給電力量といたします。
- (2) 料金の算定期間における最大需要電力は、30分ごとの使用電力量の値を2倍したものの最大値といたします。

16 料 金 の 算 定

- (1) 料金は、次の場合を除き、料金の算定期間を「1月」として算定いたします。
 - イ 電気の供給を開始し、または需給契約が消滅した場合
 - ロ 契約種別、契約負荷設備、契約電流、契約容量、契約電力等を変更したことにより、料金に変更があった場合
- (2) 料金は、需給契約ごとに当該契約種別の料金を適用して算定いたします。

17 日 割 計 算

- (1) 当社は、16(料金の算定)(1)イまたはロの場合は、次により料金を算定いたします。
 - イ 基本料金または最低月額料金は、別表4（日割計算の基本算式）により日割計算

をいたします。

ロ 電力量料金および再生可能エネルギー発電促進賦課金（最低料金に適用される再生可能エネルギー発電促進賦課金を除きます。）は、日割計算の対象となる期間ごとの使用電力量に応じて算定いたします。

ハ イおよびロによりがたい場合は、これに準じて算定いたします。

(2) 16（料金の算定）(1)イの場合により日割計算をするときは、日割計算対象日数には開始日を含み、消滅日を除きます。

また、16（料金の算定）(1)ロの場合により日割計算をするときは、変更後の料金は、変更のあった日から適用いたします。

18 料金の支払義務および支払期日

(1) お客様の料金の支払義務は、検針の結果等にもとづき、当社にて料金の請求が可能となった日に発生いたします。

(2) 当社は、各月の使用電力量および料金その他の請求額をお客様にお知らせいたします。

(3) お客様の料金は、支払期日までに支払っていただきます。

(4) 支払期日は、当社にて料金の請求が可能となった日以降当社が別途定める日といたします。

19 料金その他の支払方法

(1) 料金については毎月、原則として当社が指定した金融機関等を通じてイにより支払っていただきます。ただし、お客様が希望され、当社が認める場合には、ロにより支払っていただきます。また、料金がクレジット会社により当社が指定した金融機関等に払い込まれなかった場合、料金がおお客様の指定する口座から振替日に引き落とされなかった場合または当社の事情によりイもしくはロによる支払いができない場合等特別の事情がある場合には、ハにより支払っていただきます。

イ お客様が当社の指定するクレジット会社との契約にもとづき、そのクレジット会社に毎月継続して料金を立替えさせる方法により当社が指定した金融機関等を通じて払い込みにより支払われる場合は、当社が指定した様式によりあらかじめ当社に申し出ていただきます。

ロ お客様が指定する口座から当社の口座へ毎月継続して料金を振り替える方法を希望される場合は、当社が指定した様式によりあらかじめ当社に申し出ていただきます。

ハ お客様が料金を当社が指定した金融機関等を通じて払い込みにより支払われる場合には、当社が指定した様式によっていただきます。

(2) お客様が料金を(1)イまたはロにより支払われる場合を除き、当社は、原則として、請求書の発行に係る手数料等これにともない要する費用に相当する金額を申し受け

ます。

(3) お客さまが料金を(1)イ、ロまたはハにより支払われる場合は、次のときに当社に対する支払いがなされたものといたします。

イ (1)イにより支払われる場合は、料金はそのクレジット会社により当社が指定した金融機関等に払い込まれたとき。

ロ (1)ロにより支払われる場合は、料金がお客さまの指定する口座から引き落とされたとき。

ハ (1)ハにより支払われる場合は、料金はその金融機関等に払い込まれたとき。

(4) 当社は、(1)にかかわらず、当社が指定した債権管理回収業に関する特別措置法にもとづく債権回収会社（以下「債権回収会社」といいます。）が指定した金融機関等を通じて、債権回収会社が指定した様式により、料金を払い込みにより支払っていただくことがあります。この場合、(3)にかかわらず、債権回収会社が指定した金融機関等に払い込まれたときに当社に対する支払いがなされたものといたします。

(5) 料金は、支払義務の発生した順序で支払っていただきます。

(6) 工事費負担金等相当額については、原則として、当社が一般送配電事業者から工事費負担金その他の請求を受けた直後に支払義務が発生する料金とあわせて支払っていただきます。

20 保 証 金

(1) 当社は、お客さまが次のいずれかに該当する場合には、供給の開始に先だって、または供給継続の条件として、保証金を預けていただくことがあります。

イ 支払期日を経過してなお料金を支払われなかった場合

ロ 新たに電気を使用し、または契約電力等を増加される場合で、次のいずれかに該当するとき。

(イ) 他の需給契約（既に消滅しているものを含みます。）の料金を支払期日を経過してなお支払われなかった場合

(ロ) 支払期日を経過してなお料金を支払われないことが予想される場合

(2) 当社は、需給契約が消滅した場合またはお客さまが支払期日を経過してなお料金を支払われなかった場合には、保証金をお客さまの支払額に充当することがあります。この場合、当社は、あらためて保証金を預けていただくことがあります。

(3) 当社は、保証金について利息を付しません。

(4) 当社は、需給契約が消滅した場合には、保証金をお返しいたします。ただし、(2)により支払額に充当した場合は、その残額をお返しいたします。

IV 使用および供給

21 適正契約の保持

当社は、お客さまとの需給契約が電気の使用状態に比べて不相当と認められる場合には、すみやかに契約を適正なものに変更していただきます。

22 需要場所への立入りによる業務の実施

当社は、次の業務を実施するため、お客さまの承諾をえてお客さまの土地または建物に立ち入らせていただくことがあります。この場合には、正当な理由がない限り、立ち入ることおよび業務を実施することを承諾していただきます。

なお、お客さまのお求めに応じ、係員は、所定の証明書を提示いたします。

- (1) 不正な電気の使用の防止等に必要なお客さまの電気機器の試験、契約負荷設備、契約主開閉器もしくはその他電気工作物の確認もしくは検査または電気の使用用途の確認
- (2) その他この需給約款および料金表によって、需給契約の成立、変更または終了等に必要業務

23 違 約 金

- (1) お客さまが次のいずれかに該当し、そのために料金の全部または一部の支払いを免れた場合には、当社は、その免れた金額の3倍に相当する金額を、違約金として申し受けます。
 - イ 電気工作物の改変等によって不正に電気を使用された場合
 - ロ 契約負荷設備以外の負荷設備によって電気を使用された場合
 - ハ 動力契約種別を適用する場合で、変圧器、発電設備等を介して、電灯または小型機器を使用されたとき。
- (2) (1)の免れた金額は、この需給約款および料金表に定められた供給条件にもとづいて算定された金額と、不正な使用方法にもとづいて算定された金額との差額といたします。
- (3) 不正に使用した期間が確認できない場合は、6月以内で当社が決定した期間といたします。

24 供給の中止または使用の制限もしくは中止

- (1) 当社は、次の場合には、供給時間中に電気の供給を中止し、またはお客さまに電気の使用を制限し、もしくは中止していただくことがあります。
 - イ 異常漏水等により電気の需給上やむをえない場合
 - ロ 一般送配電事業者が維持および運用する供給設備に故障が生じ、または故障が生ずるおそれがある場合

ハ 一般送配電事業者が維持および運用する供給設備の点検，修繕，変更その他の工
事上やむをえない場合

ニ その他保安上必要がある場合

(2) 当社は，(1)にともなう料金の減額は行ないません。

25 損害賠償の免責

(1) 24（供給の中止または使用の制限もしくは中止）(1)によって電気の供給を中止し，
または電気の使用を制限し，もしくは中止した場合で，それが当社の責めとならない
理由によるものであるときには，当社は，お客さまの受けた損害について賠償の責め
を負いません。

(2) 託送約款等の規定にもとづき一般送配電事業者が電気の供給を停止した場合また
は32（解約等）によって需給契約を解約した場合もしくは需給契約が消滅した場合に
は，当社は，お客さまの受けた損害について賠償の責めを負いません。

(3) 漏電その他の事故が生じた場合で，それが当社の責めとならない理由によるもので
あるときには，当社は，お客さまの受けた損害について賠償の責めを負いません。

26 設備の賠償

お客さまが故意または過失によって，その需要場所内の一般送配電事業者の電気工作
物，電気機器その他の設備を損傷し，または亡失したことにより，当社が一般送配電事業
者から賠償の請求を受けた場合は，当社は，その賠償に要する金額をお客さまから申し受
けます。

V 契約の変更および終了

27 需給契約の変更

- (1) お客さまが電気の需給契約の変更を希望される場合は、II（契約の申込み）に定める新たに電気の需給契約を希望される場合に準ずるものといたします。
- (2) (1)の場合、当社は、需給契約の変更前は、需給契約の変更内容を、変更後は、需給契約の変更内容、需給契約の成立日、供給地点特定番号ならびに当社の名称および所在地をお客さまにお知らせいたします。この場合、契約締結前交付書面および契約締結後交付書面の交付に代えて、電子メールを送信する方法または電気通信回線を通じてお客さまの閲覧に供する方法等によりお客さまにお知らせすることがあります。
なお、変更とならないその他の事項については、お知らせを省略することがあります。

28 名義の変更

相続その他の原因によって、新たなお客さまが、それまで電気の供給を受けていたお客さまの当社に対する電気の使用についてのすべての権利義務を受け継ぎ、引き続き電気の使用を希望される場合で、当社が承諾したときには、名義変更の手続きによることができます。この場合には、当社が文書による申出を必要とするときを除き、電磁的方法、口頭、電話等により申し出ていただきます。

29 需給契約の廃止

- (1) お客さまが電気の使用を廃止しようとする場合は、あらかじめその廃止期日を定めて、当社に通知していただきます。
- (2) 需給契約は、32（解約等）および次の場合を除き、お客さまが当社に通知された廃止期日に消滅いたします。
 - イ 当社がお客さまの廃止通知を廃止期日の翌日以降に受けた場合は、通知を受けた日に需給契約が消滅したものといたします。
 - ロ 一般送配電事業者が需給を終了させるための処置ができない場合は、需給契約は需給を終了させるための処置が可能となった日に消滅するものといたします。
 - ハ お客さまが電気の供給を受ける小売電気事業者を変更されることにともない、当社との需給契約の廃止期日を通知される場合で、廃止期日と新たな小売電気事業者が電気の供給を開始する日が異なるときは、需給契約は新たな小売電気事業者が電気の供給を開始する日に消滅するものといたします。
 - ニ お客さまが電気の供給を受ける小売電気事業者を変更されることにともない、当社との需給契約の廃止期日を通知される場合で、新たな小売電気事業者が電気の供給を開始するために必要な手続きを廃止期日の2暦日前から起算して1営業日前の日の1暦日前（一般送配電事業者が30分ごとに計量することができない計量器を

取り付けている場合は廃止期日の 2 暦日前から起算して 8 営業日前の日の 1 暦日前といたします。) までに行なわなかったときは、廃止期日にかかわらず、需給契約は消滅しないものといたします。

30 需給開始後の需給契約の消滅または変更にもなう工事費等の精算

お客さまが契約電流、契約容量または契約電力を新たに設定し、または増加された後 1 年に満たないでこれを減少し、または需給契約を消滅させようとする事により、当社が一般送配電事業者から託送約款等にもとづく工事費等の精算を受けた場合は、当社は、その精算に要する金額に相当する金額を工事費負担金等相当額として申し受けます。

31 需給開始に至らないで需給契約を廃止または変更される場合の工事費負担金等相当額の申受け

一般送配電事業者が維持および運用する供給設備の一部または全部を施設した後、お客さまの都合によって需給開始に至らないで需給契約を廃止または変更される事により、当社が一般送配電事業者から託送約款等にもとづき要した費用の実費の請求を受けた場合は、当社は、請求を受けた金額に相当する金額を工事費負担金等相当額として申し受けます。

32 解 約 等

(1) お客さまが次のいずれかに該当する場合には、当社は、そのお客さまについて需給契約を解約することがあります。この場合には、その旨をお客さまにお知らせいたします。

- イ 託送約款等の規定にもとづき電気の供給を停止されたお客さまが一般送配電事業者の定めた期日までにその理由となった事実を解消されない場合
- ロ お客さまが料金を支払期日を経過してなお支払われない場合
- ハ お客さまが他の需給契約（既に消滅しているものを含みます。）の料金を支払期日を経過してなお支払われない場合
- ニ お客さまが当社とのガス供給および使用に関する契約その他当社との契約（既に消滅しているものを含みます。）によって支払いを要することとなった料金その他金銭債務を支払期日を経過してなお支払われない場合
- ホ 当社との需給契約によって支払いを要することとなった料金以外の債務（違約金、工事費負担金等相当額その他この需給約款および料金表から生じる金銭債務をいいます。）を支払われない場合
- ヘ お客さまがその他この需給約款または料金表に反した場合

(2) お客さまが、29（需給契約の廃止）(1)による通知をされないで、その需要場所から移転され、電気を使用されていないことが明らかな場合には、当社が定める日に需給

契約は消滅するものといたします。

33 需給契約消滅後の債権債務関係

需給契約期間中の料金その他の債権債務は、需給契約の消滅によっては消滅いたしません。

附 則（この需給約款の実施期日）

1 この需給約款の実施期日

この需給約款は、令和4年11月1日から実施いたします。

2 燃料調整費単価の適用開始時期

(1) 別表2（燃料費調整）(1)ロによって算定された燃料費調整単価は、令和4年12月の料金に係る計量期間等の始期以降に使用される電気に適用するものとし、令和4年11月の料金に係る計量期間等の終期までに使用される電気に適用する燃料費調整単価は、次の算式によって算定された値といたします。なお、燃料費調整単価の単位は、1銭とし、その端数は、小数点以下第1位で四捨五入いたします。

(イ) 1キロリットル当たりの平均燃料価格が37,200円を下回る場合

$$\text{燃料費調整単価} = (37,200\text{円} - \text{平均燃料価格}) \times \frac{\text{別表2(燃料調整費)(2)の基準単価}}{1,000}$$

(ロ) 1キロリットル当たりの平均燃料価格が37,200円を上回り、かつ、55,800円以下の場合

$$\text{燃料費調整単価} = (\text{平均燃料価格} - 37,200\text{円}) \times \frac{\text{別表2(燃料調整費)(2)の基準単価}}{1,000}$$

(ハ) 1キロリットル当たりの平均燃料価格が55,800円を上回る場合

平均燃料価格は、55,800円といたします。

$$\text{燃料費調整単価} = (55,800\text{円} - 37,200\text{円}) \times \frac{\text{別表2(燃料調整費)(2)の基準単価}}{1,000}$$

(2) 別表2（燃料費調整）(1)ロによって算定された燃料費調整単価の適用開始までの間、別表2（燃料費調整）(1)ニにおける「ロによって算定された燃料費調整単価」および別表2（燃料費調整）(3)における「(1)ロによって算定された燃料費調整単価」は、「附則2（燃料費調整単価の適用開始時期）(1)によって算定された燃料費調整単価」とそれぞれ読み替えるものといたします。

3 この需給約款の実施にともなう切替措置

この需給約款が適用される以前における、当社との需給契約によって支払いを要することとなった料金および料金以外の債務（延滞利息、保証金、違約金、工事費負担金等相当額その他当社との需給契約から生ずる金銭債務をいいます。）を支払われない場合は、32（解約等）に準ずるものといたします。

別 表

1 再生可能エネルギー発電促進賦課金

(1) 再生可能エネルギー発電促進賦課金単価

再生可能エネルギー発電促進賦課金単価は、再生可能エネルギー特別措置法第36条第2項に定める納付金単価に相当する金額とし、再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法第三十二条第二項の規定に基づき納付金単価を定める告示（以下「納付金単価を定める告示」といいます。）およびインバランスリスク単価等を定める告示により定めます。

なお、当社は、再生可能エネルギー発電促進賦課金単価をあらかじめ当社のホームページ等に掲示いたします。

(2) 再生可能エネルギー発電促進賦課金単価の適用

(1)に定める再生可能エネルギー発電促進賦課金単価は、当該再生可能エネルギー発電促進賦課金単価に係る納付金単価を定める告示がなされた年の5月の検針期間等の始期から翌年の4月の検針期間等の終期までの期間に使用される電気に適用いたします。

(3) 再生可能エネルギー発電促進賦課金の算定

イ 再生可能エネルギー発電促進賦課金は、その1月の使用電力量に(1)に定める再生可能エネルギー発電促進賦課金単価を適用して算定いたします。

なお、再生可能エネルギー発電促進賦課金の単位は、1円とし、その端数は、切り捨てます。

ロ お客さまの事業所が再生可能エネルギー特別措置法第37条第1項の規定により認定を受けた場合で、お客さまから当社にその旨を申し出ていただいたときは、お客さまからの申出の直後の5月の検針期間等の始期から翌年の4月の検針期間等の終期（お客さまの事業所が再生可能エネルギー特別措置法第37条第5項または第6項の規定により認定を取り消された場合は、その直後の検針期間等の終期といたします。）の前日までの期間に当該事業所で使用される電気に係る再生可能エネルギー発電促進賦課金は、イにかかわらず、イによって再生可能エネルギー発電促進賦課金として算定された金額から、再生可能エネルギー特別措置法第37条第3項第1号によって算定された金額に再生可能エネルギー特別措置法第37条第3項第2号に規定する政令で定める割合として再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法施行令に定める割合を乗じてえた金額（以下「減免額」といいます。）を差し引いたものといたします。

なお、減免額の単位は、1円とし、その端数は、切り捨てます。

2 燃料費調整

(1) 燃料費調整額の算定

イ 平均燃料価格

原油換算値1キロリットル当たりの平均燃料価格は、貿易統計の輸入品の数量および価額の値にもとづき、次の算式によって算定された値といたします。

なお、平均燃料価格は、100円単位とし、100円未満の端数は、10円の位で四捨五入いたします。

$$\text{平均燃料価格} = A \times \alpha + B \times \beta$$

A = 各平均燃料価格算定期間における1キロリットル当たりの平均原油価格

B = 各平均燃料価格算定期間における1トン当たりの平均石炭価格

$$\alpha = 0.4699$$

$$\beta = 0.7879$$

なお、各平均燃料価格算定期間における1キロリットル当たりの平均原油価格および1トン当たりの平均石炭価格の単位は、1円とし、その端数は、小数点以下第1位で四捨五入いたします。

ロ 燃料費調整単価

燃料費調整単価は、次の算式によって算定された値といたします。

なお、燃料費調整単価の単位は、1銭とし、その端数は、小数点以下第1位で四捨五入いたします。

(イ) 1キロリットル当たりの平均燃料価格が37,200円を下回る場合

$$\text{燃料費調整単価} = (37,200\text{円} - \text{平均燃料価格}) \times \frac{\text{(2)の基準単価}}{1,000}$$

(ロ) 1キロリットル当たりの平均燃料価格が37,200円を上回る場合

$$\text{燃料費調整単価} = (\text{平均燃料価格} - 37,200\text{円}) \times \frac{\text{(2)の基準単価}}{1,000}$$

ハ 燃料費調整単価の適用

各平均燃料価格算定期間の平均燃料価格によって算定された燃料費調整単価は、その平均燃料価格算定期間に対応する次の燃料費調整単価適用期間に使用される電気に適用いたします。

平均燃料価格算定期間	燃料費調整単価適用期間
毎年1月1日から3月31日までの期間	その年の6月の検針期間等
毎年2月1日から4月30日までの期間	その年の7月の検針期間等
毎年3月1日から5月31日までの期間	その年の8月の検針期間等
毎年4月1日から6月30日までの期間	その年の9月の検針期間等
毎年5月1日から7月31日までの期間	その年の10月の検針期間等
毎年6月1日から8月31日までの期間	その年の11月の検針期間等
毎年7月1日から9月30日までの期間	その年の12月の検針期間等
毎年8月1日から10月31日までの期間	翌年の1月の検針期間等
毎年9月1日から11月30日までの期間	翌年の2月の検針期間等
毎年10月1日から12月31日までの期間	翌年の3月の検針期間等
毎年11月1日から翌年の1月31日までの期間	翌年の4月の検針期間等
毎年12月1日から翌年の2月28日までの期間 (翌年が閏年となる場合は、翌年の2月29日までの期間)	翌年の5月の検針期間等

ニ 燃料費調整額

燃料費調整額は、その1月の使用電力量にロによって算定された燃料費調整単価を適用して算定いたします。

(2) 基準単価

基準単価は、平均燃料価格が1,000円変動した場合の値とし、次のとおりといたします。

1キロワット時につき	19銭7厘
------------	-------

(3) 燃料費調整単価等の掲示

当社は、(1)イの各平均燃料価格算定期間における1キロリットル当たりの平均原油価格、1トン当たりの平均石炭価格および(1)ロによって算定された燃料費調整単価を当社のホームページ等に掲示いたします。

3 契約容量および契約電力の算定方法

契約主開閉器により契約容量または契約電力を定める場合は、次により算定いたします。ただし、契約電力を算定する場合は、力率（100パーセントといたします。）を乗じます。

- (1) 供給電気方式および供給電圧が交流単相 2 線式標準電圧 100 ボルトもしくは 200 ボルトまたは交流単相 3 線式標準電圧 100 ボルトおよび 200 ボルトの場合

$$\text{契約主開閉器の定格電流(アンペア)} \times \text{電圧(ボルト)} \times \frac{1}{1,000}$$

なお、交流単相 3 線式標準電圧 100 ボルトおよび 200 ボルトの場合の電圧は、200 ボルトといたします。

- (2) 供給電気方式および供給電圧が交流 3 相 3 線式標準電圧 200 ボルトの場合

$$\text{契約主開閉器の定格電流(アンペア)} \times \text{電圧(ボルト)} \times 1.732 \times \frac{1}{1,000}$$

4 日割計算の基本算式

基本料金または最低月額料金を日割りする場合の日割計算の基本算式は、次のとおりといたします。ただし、日割計算対象日数が30日を上回る場合には、日割計算を行なわないものといたします。

$$1 \text{ 月の該当料金} \times \frac{\text{日割計算対象日数}}{30 \text{ 日}}$$